

児童発達支援ガイドライン自己評価表

回答率

アンケート実施期間:2024年12月
結果公表日:2025年3月27日

事業所職員: 4名回答、回答率 100%
保護者様: 25名回答、回答率 96%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・法令の基準は満たしているものの、同じ時間で受け入れる子どもの人数や特性を踏まえた上で適切な対応ができるよう、療育内容や支援の仕方に工夫をする必要がある。
- ・常に清潔な環境が保てる様に常に一人ひとりが環境整備を心掛けていく。

○業務改善

- ・研修等、品質向上の為に研修を行っている。
- ・教室内の日常業務を役割分担して効率的に進められるようにする。

○適切な支援の提供

- ・「支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか」では全職員が「はい」と回答した。スタッフ間で支援の進め方や役割分担を確認し、ミーティング時には振り返りを通して気づいた点や次回の支援の進め方を都度共有している。
- ・職員それぞれが日頃から療育に関するアイデアを収集して日々活動を提供している。

○関係機関や保護者との連携

- ・障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、責任者や管理者が参加し連携を図っている。今後、保育所等訪問支援で園や関係機関との連携をしていきたい。

○保護者への説明責任等

- ・集団療育になってから個々でのフィードバックが減ってしまったが、気になるお子様や連絡帳に記載されている内容で気になることがあれば、個別で対応している。
- ・今後は、定期的に保護者会も開催していきたい。

○非常時等の対応

- ・月1回、水害・火災・地震等様々なケースを想定した避難訓練を実施している。災害時には、迅速に対応できるよう努めている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

・「活動スペースについて適切であるか」に対し8割の方が「はい」と回答。その中で、「人数が多いと狭く感じる」というご意見を頂いた。活動スペース合わせた活動が提供できるように支援内容を検討する。

・「生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思うか」に対し、「わからない」と回答した方が数名いたため、清潔な環境を提供できるよう、定期的にチェックを行う

○適切な支援の提供

・「一人一人に合った授業内容と先生方の丁寧で温かみのある対応に感謝している」や「フィードバックや面談もとても丁寧で安心して子どもを任せられる」という意見を頂いた。その一方で、「就学に向けてのひらがな・数字なども取り入れて欲しい」とのご意見も頂いた。

今後も教室内ミーティングを通して支援内容のバリエーションを増やし、一人ひとりの発達段階や年齢に適した支援を提供していく。

○保護者への説明等

・「日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思うか」に対し、9割の方が「はい」と回答。「保護者からの連絡を見て、説明をきちんとしてくれている」「親がどう接したらいいかなどの解決策も一緒に考えてくださりアドバイスをいただけてとても助かる」というのご意見を頂いた。

・今後もフィードバック以外の時間で家族支援加算等で、個別の時間に保護者の声を受け止め、安心してご利用頂けるようにしていく。

○非常時等の対応

・昨年度のアンケートを踏まえ、避難訓練を行う時には、「本日避難訓練実施」の掲示をしていたが、まだ周知が足りないことがある。今後も非常時の対応をご利用者の皆様に周知できるように検討していきたい。

○満足度

・「毎週楽しみにしている」、「普段からの先生方の対応のおかげもあり、療育へ行くことを嫌がったことが1度もなく、本当に感謝している」というご意見を頂いた。その一方で「子どもの人数が多いと落ち着かない様子がある」という意見もあったため、今後も利用者へ安心して通所して頂けるよう努めていきたい。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

・同じ境遇の保護者同士でお話できる機会を設けることを検討。

・清潔な教室環境を提供できるように定期的に教室内チェックをし、環境整備を行う。

・避難場所を出入り口に掲示したり、避難訓練実施日には実施する旨を掲示しているが、実施日が固定化しないように年間計画を立て確実に実行できるように努める。

○改善できた点・まだ残る課題

・保護者参加型の交流会を後期に実施した。

・教室整備や清掃の部分で毎日実施はしていたものの、チェック表を用いる等やり方を再検討する。

・避難訓練は年間計画に沿って実施したが、実施する曜日もスケジュール立てし、より多くの方が参加できるようにする必要がある。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・子どもの特性に合わせた丁寧で温かみのある支援の実施が行えている。
- ・作業療法士を交えたアセスメントや支援の振り返りの実施行えている。
- ・保護者からの相談に対してスタッフ間でミーティング、助言、保育園・幼稚園訪問の提案等、重点的に実施している。(保育所等訪問支援実施)

○改善点

- ・子どもの人数に応じて、それぞれの特性や課題を分けて支援を提供していく。
- ・教室内環境を清潔に維持できるように、職員間で清掃の役割分担等見直す。
- ・避難訓練の実施について周知方法について見直す。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・教室内の設備の配置や小部屋・大部屋に合わせた療育内容を提供する。
- ・洗面所等の水回り、廊下の共有スペース、教室内の活動スペースについて清掃の役割分担を行い、快適に過ごせる環境づくりを目指す。
- ・毎月、避難訓練の実施前後に保護者へ周知をする。

○1年間で取り組む具体策

- ・子どもの活動スペースにおいて、パーテーションや収納方法を見直し、安全かつ子どもが流れに沿って自発的に行動できる環境で支援を提供できるようにする。
- ・清潔な活動空間を提供できるように分担をして定期的に指導員がチェックし、環境整備を行う。
- ・避難場所を出入り口に掲示したり、避難訓練実施日には実施する旨を掲示したりしているが、実施日(曜日)が固定化しないようにスケジュールを立て、全利用者に確実に実行できるようにする。